

まるちゃんのお話

メールのルールやマナーのお話 (5)

新年あけましておめでとうございます。

マナーを一言で表す言葉は「メールの顔にお化粧をしよう」だと思います。この頃の男性もそうですが、女性もすっぴんで外出はしないでしょう。メールも同じ事が言えます。メールは自分の心の素顔が出てしまいます。

仲間内のMLとは言え、すっぴんで大勢の前に出たりはしないでしょう。素顔のメールより少しお化粧してメールも外出させましょう。

MLは楽しむが一番、相手を知らなければ楽しむうにも楽しめるはずもなく、逆に恐怖心が湧くばかりです。

そんな時は会うのが一番。会えば「あ～あの人！」と一気に親しみやすさがあがります。シニアネット久留米で言えばオフ会や各種イベントに参加する、そして大いにメールライブを楽しんでいきましょう。

MLマナーの続きです。

昨年1年間はマナーやルールを中心に色々書いてきましたが、今回でひとまず打ち止めになります。

春号(4月号)から何を書くかは編集長と相談して決めますが楽しいものにしていきます。記：石橋修二

お知らせ

1・12月1日より駐車場が変わりました。 : 事務局

・新しい駐車場はHPにて確認のうえお出で下さい。

2・荒木農園より農事メモ : 菜園師範 ゆの字

・久留米大学と進めている「癒しの森公園」構想について、久留米大学駄田井教授へ12月10日計画書を提出済。

・SyoplaではEM菌を使った「米ぬかぼかし」を作っています。荒木農園で使用している「米ぬかぼかし」の作成手順はブログ「荒木農園の四季」に掲載しています。土曜日 Syopla では作成手順を教えています。

3・国際ツバキ会議へ向けた写真班編成 : 理事 弥永
2010年の国際ツバキサミット用カタログの写真撮影の依頼を受けて、リーダーのばらさんとメンバー10名が編成されました。撮影は2008年12月10日～09年5月31日の予定。久留米は椿の産地、世界の人が集まる準備です。

4・3学期を向える教育支援ボランティア : 理事 小島
小学校は3学期を迎えます。元気な子どもたちが算数でつまづかないよう側面から支援します。また日本の伝統である囲碁・将棋の技術的な指導が目的です。

・荘島小学校：囲碁将棋の時間
・京町小学校：2,3年生の算数の時間

5・講座運営委員会 : 理事 中丸

・SNK 月次日程は、パソコン講座表をごらん下さい。

http://www.snk.or.jp/koza/kouza.html

受講料：SNKの受講料規定通りです。

6・事務局から詩・歌集販売のお知らせです。

かつてシニアネット久留米で活躍され、惜しくも病のためこの世を去った二人の女性の作品を紹介します。

(1) 中嶋輝洋子 歌集「夢ならば」 定価 2,100円

(2) 杉 真理子 詩集「秋日和」 定価 2,100円

詩・歌集をお求めのかたは、事務局に在庫がありますので、どうぞお問い合わせください。 事務局 伊藤

7・『SNKの案内菜』準備中 事務局 馬場

(編集後記)九州シニアネットサミット、10周年を祝った昨年。新たな時代を遠望すると楽観できる要素は少ない。時代は試練を常に準備して待っている。2009年は地域間交流の年に。(式)

活動報告(2008年10月～12月)

1・10月26日「シニアネットフェスタ」が開催された。(SNK10周年フェスタ、九州シニアネットサミット)

六つ門大会会場の九州シニアネットサミット参加6団体、六角堂にて開催されたSNK10周年フェスタ参加者1500人と盛大にイベントは行われました。実行委員会はよくまとまりその成果を十分以上に果たし、そして活動を終えました。実行委員会のみなさん、ご苦労さんでした。

2・みんなで知ろう・学ぼう「くるめが・グー」に参加。(11月30日、市内の小学生4.5.6年生50名の案内人)

みんなで楽しく久留米の町を歩こう！むかしの久留米ってどんな街だったの？…久留米青年会議所の呼びかけに応じて3名が参加(金子、一ノ瀬、熊谷)、久留米の偉人の遺跡を訪ねて子どもたちと約5km歩きました。

3・11月30日第30回久留米市ボランティアフェスティバル 総合福祉会館など3会場にて、ボランティアフェスティバルが行われました。SNKから、ここにこステップ運動3名が参加(小島、武友、真子)しました。

4・うまかもんチームによる津福サロン年末行事です。

注連縄づくり(12月27日)、餅つき(12月29日)

5・ロースハムを今年も販売しました。

賛助企業の岩田屋フード製品を、昨年に続き格安の価格で12月17日予約販売(お歳暮用・年末・年始の食卓用)しました。150本を販売、有難うございました。事務局:金子

オリエンテーション

わたしは新人会員です！よろしくね

12月6日土曜日の「会員さんオリエンテーション」に参加いただいた方々の率直な感想と意見を賜りました。

☆寺崎万寿美さん：先生の話で知らなかったことが分かり、それはもっと知りたいと刺激されることだった。デジカメなどいろんな事を覚えていきたい。

☆園田園江さん：パソコンについて理解が進んだ。知れば知るほど新しく疑問に思うことを、いっぺんにではなく駆け込み寺のように分からないことを学びたいと思っています。

☆富川国広さん：すごい量のメールを受け取るのもそれはすごいロスを生む、なんとかならないか、と思って参加した。(…パソコン関係は経験豊富、とお見受けしました)

☆宮原久人さん：仕事でパソコン使用経験5～6年です。地域との接点を大事にする会と聞いているし、私もボランティア活動に参加したいと思っています。

☆徳山富士子さん：会の理念にあるようにお友だちを増やしたい。だからサークルなど興味があります。特にマジッククラブやシャルウィダンス、うまかもん、などよろしくお願ひします。

・……先生の話も聞いてみました。

★ゆきまり(須賀ゆき子)先生：の感想

参加者と一緒になってSNKの紹介・説明をしていますと、参加した皆さんの初々しさや意気込みを感じました。その熱心さに私もいつか熱くなって先生を務めていました。

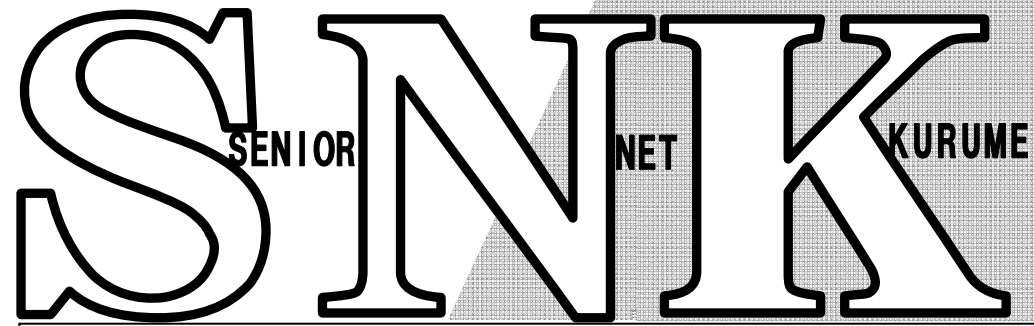
SNKでは会員を募集しています

同世代シニアの友人と遊び、パソコン教室で講座を学ぶ、

申し込みは「シニアネット久留米」事務局へ

年会費：3000円 入会金：無料

久留米市荘島町13-1 荘島プラザ2階



編集・発行
NPOシニアネット久留米
理事長 廣津芳信
久留米市荘島町13-1
TEL 0942-46-2277

癒しの森公園 2009年・荒木農園

理事 島井新一郎

野菜づくりを楽しむ農園、ボランティア活動の一環と

して大きな方向・公園化を見据えている荒木農園です。

みんなが集まる【癒しの森公園】と呼ばれる公園です。

学生もシニアも、そこで知恵を出し合い学び合っ

て、幼児や障害者や社会でハンディをもつ人たちが集う、

ここは、癒しの森を実現する荒木農園です。

荒木農園は、じゃがいもの収穫祭を6月、さつまいもの収穫祭を11月に済ませ、2年目となる2009年度はますますその活動は広がると思われます。

ユニバーサル財団より補助金を僅かだが受領します。

その内容は11月理事会、農園で報告のとおりです。この補助金を使って右記の如く荒木農園を整備して、要望書、許可願いを久留米大学へ2008年12月10日提出しました。

これらの内容は11月7日収穫祭で駄田井教授と学生部長に口頭でお願いした内容でもあります。理事の皆さんの理解の下に『荒木研修所を活用拡大』を進めます。申請文案の大意は右記にあるとおりです。

わたしの1枚・・・傑作



マクロレンズ至近距離30㌢からの呼吸を止めた苦心作 2008年3月

(1) 菜園拡張のための土の搬入

現在菜園として使用している場所は約150坪で、今後希望者の増加に対応、家屋が建っている北側に200坪ほどの広場があり、ここに畑に適した土の搬入100～150坪程度に30cm程度の土を搬入して畑とする。

(2) 門扉の管理・鍵スペア専用貸与

現在は駄田井ゼミの学生が門扉の開閉をしてくれています。週一回の使用を、今後活用が活発になるに合わせて鍵キーの専用管理による管理方法等への変更。

(3) 建屋の修理・清掃の許可願ひ

100坪ほどの立派な建屋があり、各種活動に利用できるよう修理し清掃管理を行うお願い。痛みの酷い一部の改修をシニアネット久留米にて行います。

(4) 敷地内の整備

高齢者・幼児・病気回復期のリハビリ患者などが安心して散歩したり遊んだりできる「癒しの森」として活用したいとの構想を実現するため、敷地内のベンチの補修、道路の清掃・整備・草刈の作業などを行う。

(5) 費用の負担

以上の作業等についての費用一切はシニアネット久留米においてユニバーサル財団の補助金を使って行います。

【テング蝶・テング蝶科】

撮影：オリンパス 『梅にとまるテング蝶』：明星山
冬も越冬して過ごす珍しい蝶です。羽の色が茶褐色で模様が入る地味な色合いの蝶です。枯れ木や枯れ枝、または落ち葉に留まるのをよく見かけますが、保護色の枯葉に交じったところでは気をつけないと見つけるのは難しい。明星山でカメラを持って散策中、偶然にも梅の花の蜜を吸っているところを撮った貴重な1枚です。

年間見ることが出来ませんが夏は仮眠をしていることが多く、鮮やかな羽を持つ蝶と違って見つけるのに苦労をします。蝶は蜜や樹液に集まるのもあり、テング蝶は地を這うよう低いところを飛ぶので、注意していないと見つけることが出来ません。シャッターを押せるばかりに準備して気付かれぬよう近寄り、手振れ予防を考えてファインダーを覗くことです。

昆虫も鳥も正面から撮る必要があり、視力のよい鳥が驚いて逃げないよう気をつけて近づくこと。また、蝶は空気振動、臭気、パルス信号・電波に反応しますから、接近してカメラの電源を入れるのは具の骨頂というものです。

写真：ちぬきち(天野義隆)

インターネットで学び遊び交流し、地域が良くなることを願っている仲間たちは2008年10月26日久留米・六角堂のSNK10周年フェスタ・イベントに集まり六ツ門大学を会場に6団体による第1回九州シニアネットサミットを開催した。

特集 九州シニアネットサミット

NPO 法人シニアネット久留米 の理念
「パソコンを通じ、高齢者の生き甲斐づくり・仲間作り」
「奉仕されるより奉仕しよう」

シニアネット福岡 手島理事長 会員 459名 発表は理事長



熟年セミナーに参加した有志13名は1998年11月任意団体、2001年8月1日NPO法人登録。
1・インターネットによる会員の生き甲斐作り仲間作りを通じて、シニアの豊かな生活、健全な子どもの育成、国内他都市との交流、国際交流等の推進、住みやすい社会環境づくりに寄与。
2・活動状況は4箇所のパソコン教室、及び公民館、図書館等への講師派遣により約10000名の講座受講生がある。また、障害者施設への出張指導によりどんな状態の人にも対応できるカリキュラムを準備してマンツーマン指導をしています。
ボランティアは日田市大山町との定期交流、九大病院患者棟での写真展示など多数で盛況。
*理事やパソコン講師、機器管理者等の人材育成、新人会員の増加が当面の懸案事項です。

シニアネット北九州 田鍋理事長 会員 200名 発表は理事長



北九州活性化協議会『もったいない総研フォーラム』の1部会として設立2000年3月16日。活動を継続したいという強い意思で2006年1月20日、NPO法人登録をする。
1・北九州の恵まれた自然に囲まれ、シニア世代を中心に経験豊かな人材を活かして、健康で心豊かな生活を営む上で「もったいない」をキーワードにした市民活動を展開している。
2・活動は、地球はみんなの共有財産として環境保全活動に特化している
☆さわやか清掃 ☆ダンボールコンポスト「ダンぼっち」を作成してゴミ削減50%の実践指導☆環境ミュージアム「みらいホテルデー」やエコスタイルタウンなど子どもたちの環境学習に取り組む。地域から環境情報の受発信を行っている。
*環境活動とIT活動のスムーズな連携が望まれて、勉強会や講座により理解を広めたい。

熊本シニアネットKSN 中島理事長 会員 400名 (含メール会員 1250名) 発表は理事長



1999年7月、熊本大学学園OB、教授、職員21名による設立。
1・シニア&若い世代の交流で明るく生き生きと支えあって奉仕される事よりも奉仕できる喜びを。シニアの孤立を無くし、楽しく学ぶ遊ぶ福祉の3拍子で高齢者の生きがい創りが目的。
2・活動状況は、歩いて行ける距離にサロンと呼ぶ(現在12)支部を作り、会員はサロンを拠点に集まり交流。シニア情報生活アドバイザー養成事業の推進、アドバイザー有資格143名。今年度の展望☆高齢者の福祉を積極的に手伝えるシステム推進☆身近な地域にサロンを作り拡大と地域との連帯強化☆支部活動の支援体制を推進☆知って得する「シニア情報室」の充実☆地方でリーダー講習会を行い地方のIT要員を増やす☆会員のパソコン相談窓口開設。
*孤独や生き甲斐創造を求めている(支援の必要)人の力になりたい、と活動を続けている。

シニアネット大分 尾関理事長 会員 509名 発表は後藤達雄事業部長



1999年パソコンを愛好していた5名で設立、2001年2月NPO法人の認定を受ける。
1・2002年韓国のシニアネットとの交流、2003年10月マイクロソフト社の社会貢献プログラムで選ばれUPプログラムを実施する。シニアの生きがい作りや仲間作りをインターネットを介して支援、情報豊かな生活設計の実現と次世代の子どもたちの健全育成に努めている。
2・活動は、明るい街づくりへの貢献とボランティアの輪を広げ、パソコンによる同好会活動を進める。カリキュラムによるパソコン講座を実施、シニア情報生活アドバイザー養成講座、資格3年更新の研修会を実施、Q&Aコーナーを設けITの無料相談にも応じている。
*みんなが先生、みんなが生徒の発想で仲良く、活動を広げている現状です。

シニアネット佐賀 SNS 近藤理事長 会員 240名・49名 (2008年10月現在) 発表は理事長



2000年3月立ち上げて、2001年4月、サロン「ポレポレ」開設、6月NPO登録をする。
1・初心者向けIT講習会、携帯電話の講習会、調査研究「60歳からの男性の生きがい探し」を行うものの、経費(サロン家賃など)負担は大きくどう経営するか検討中である。
2・活動内容、IT技能者によるチャレンジパソコン講座「おもしろ塾」を開く。受講者20名に講師1名、サポーターで対応する。2004~06年の受講者数484名、2007年度は増えて432名。「ケータイ教室」(携帯電話講習会)やパソテル電話相談、会員対象の勉強会(PC)を実施。各種ネットワークを利用し高齢者の社会参加、生き甲斐作りを目的として活動している。
*自治体からインターネット利用支援は大きいものの、シニアライフを楽しむ活動へどう進めるか、また、活動は佐賀市に偏り地域のニーズに答えていない、などの反省点があります。

シニアネット久留米 (SNK) 島井理事
シニアネット福岡 (SNF) 手島理事長
シニアネット北九州 (SNQ) 田鍋理事長
熊本シニアネット (KSN) 中島理事長
シニアネット大分 (SNO) 後藤事業部長
シニアネット佐賀 (SNS) 近藤理事長
(備考) 発表順の並びです



SNK広津理事長による開会挨拶「今までやってきたこと、これからやろうとすることを率直に話し合い、お互いの意見を尊重して有意義な…」第1回サミットは始まりました。小島理事の司会で順次6団体は発表。SNK設立に携わった古賀直樹氏、基山へ支部独立した久野氏の祝電披露を金子事務局長、閉会の辞は今津副理事長でした。



第1回サミットにおいて次の事項が提案され採択された。
サミットの参加6団体(SNK, SNF, SNQ, SNO, KSN, SNS)の各代表は六つ門大学に集い、組織の活動と現状報告を行い、次の10年を見据えて懸案の事項を討議した。
A:九州シニアネット間の交流 ・全体交流 ・個別相互交流
B:連絡網整備(メーリングリスト) ・事務局で参加・個人で参加
シニアネット久留米の発表者島井理事より提案された上記2事項はサミット会議で参加全員の同意を得た。

シニアネット久留米 広津理事長 会員 400名 発表は島井理事



1・SNK設立までの概要
1997年 8月:シニアネット研究会を立ち上げる。
1998年 4月:発足、インターネットフェスタに参加する。
2000年 9月:情報プラザ(SIP)を本部として、経営参加する。
2000年12月:NPO法人登記を行う。本部をリサーチパークへ移転する。
2003年10月:eふるさとプロジェクト、全国最優秀賞を受賞する。
2008年 4月:本部を現在地荘島プラザに置く。
2008年10月:創立10周年フェスタ及び九州シニアネットサミットを久留米市にて実施。

2-1・サークル活動
会員相互の親睦・融和を目的に「遊ぶ」「学ぶ」「作る」「奉仕する」をテーマに展開して、サークル22グループがあり、その活動は徐々に活動エリアを市民社会レベルまで広げている。その幾つかを紹介する。
◎会員を講師とするパソコン教室は、設立から今日まで、その活動と実績はSNKの大きな柱となっている。パソコンの普及が進む今日、受講生減少の傾向があり、講座運営委員会を軸とした新しい講座の研究やレベルアップを目的としたカリキュラムの工夫がなされ、進化した講座は新たな需要を創出しつつある。
◎チッゴアミーゴス(ラテンバンド)は、練習を経て培った自信が施設への慰問演奏へ進み、招待を受けるほどの腕前となった。NHKの地方版TV取材も受けた。
◎うまかもん、旬のモノを持ち寄り季節を楽しむチームは、季節ごとにあるが、特に「筑後川芋煮会」は例年10月、青空の広がる筑後河原で里芋を大鍋で調理して集い、日頃のメールでご無沙汰の顔を確認して好評。
◎英語で歌う会、シャルウィダンス、など人気です。

2-2・ボランティア活動
理念「奉仕されるより奉仕しよう」の実現。地域社会との融合を前提としたボランティア活動は徐々に裾野を広げつつある。市や地域のニーズへ積極的参加です。
◎市立小学校へ教育補助ボランティア活動
市立2小学校への「算数」と「囲碁将棋」の指導
落ちこぼれ小学生を失くそう、先生補助要員が基本です。
◎久留米大学の施設の1部を運用した市民農園活動も「癒しの森公園」として学生や市民、高齢者や障害者、幼児、子どもなど社会的弱者の集まる公園化計画が進展している(巻頭記事をご覧ください)。
◎2010年耳納山麓で予定された「国際つばきサミット」は準備段階からの応援体制が敷かれている。久留米市の耳納北麓は植木の産地、川流域は野菜ミズナの産地です。
◎久留米市の盆行事『流し灯籠』8月15日水天宮瀬下町の補助的な活動を続けてきたが、地域の諸役員会などの要望に応じて肩代わり運営が求められている。
◎「ここにコスト運動」など地域や小学校、大学を巻き込む幅広い活動は、評価され定着している。

3・課題
(1)会員数の減少。理事や会員の参加は傾向として少なくなりつつある。……時代のニーズ魅力ある活動の創出。
(2)講座の受講者減は収入減を意味しており経営面への圧迫となりかねない。……いずれも腰を据えた見直しが必要。